

CATHERINE DESTIVELLE

LONDON
SPEAKER
BUREAU

- One of the greatest French free climbers



Topics

- Leadership
- Motivation

Catherine Destivelleは、ヨーロッパで最も冒険的でエキサイティングな女性ロッククライマー兼登山家です。安全ロープ、サポート、またはバックアップを使用せずに、最も困難で危険なピークを拡大することにおいて、ソロクライマーとしての彼女の大胆な業績は伝説的です。1985 - 88年から彼女は世界最高の女性クライマーと見なされました。1990年に彼女は一連の信じられないほどの登山をしました。そして、3つの最も伝説的なアルプスの壁 - アイガー、グランドジョラスとマッターホルン - のソロの冬の上昇を含みます。

1985年Destivelleはロッククライミング映画を主演し、複数の国際クライミングコンペティションで優勝し、彼女のプロのクライミングキャリアを始めました。これらは1985年のSportroccia[®]後でロックマスター年次大会として知られる)、1986年のアルコ、そして1986年、1987年と1988年のバルドネッキア登山選手権を含みました。

1988年に、DestivelleはフランスのBuouxでChoucaと呼ばれるまだ新しい13cのルートを登りました。そして、それはスポーツクライミング革命の象徴となった1本の指と2本の指のポケットの急勾配の線です。それはそれまで女性が登った世界で最も困難な道でした。

1989年に第2スノーボードカップに出場した後、彼女は登山に集中するために競技から引退した。1990年に彼女はパキスタンのNameless Towerをフリークライミングし、ソロはLes DrusのBonatti Pillarを登りました。1991年に、彼女は注目に値する11日間のソロ登りの間に、Drusの有名な西の面に新しい道を開きました。1992年には、アルプスで最も致命的とされている、神秘的な岩肌のベルナーオーバーラントでアイガー北側の面をソロにするのに17時間かかりました。同じ年の間に、彼女はパキスタンで巨大なLatokを試みました。

1993年に、彼女はGrandes JorassesのNorth Faceの冬ソロを達成して、ネパールのMakaluの西の柱を試みました。彼女は1994年に冬にマッターホルンの北の面でBonattiルートをソロにし、1995年に彼女はチベットのShishapangmaの南西の面に登り、アンナプルナの南の面を試みました。Destivelleは1999年にイタリアのドロミテでCima Grande di Lavaredoのダイレクトノースフェイスを登りました、そして再び彼女の2日かかったこのソロ上昇のための最初の女性でした。

彼女は1990年代後半にソロ登りを減らし始め、講師および作家として活発なキャリアを築きました。Destivelleは非常に熟達した講演者であり、彼女が自分のビジョンを共有し驚異的な業績を達成することによって成功を達成するために彼らの目標に焦点を合わせるよう挑戦し、感動させるプレゼンテーションを行います。彼女はスライド、ビデオ映像、映画で、自分の可能性を最大限に引き出すために必要なビジョン、信念、自己決定を力強く説明しています。

Destivelleは、2009年のパンフマウンテン映画祭で長編映画の長編映画賞を受賞したフランスの監督、レミー・テジエの『Beyond the Summits』を含む数々のドキュメンタリーの主題となっています。

info@londonspeakerbureau.my +603 2301 0988